

令和 3 年度県立石下紫峰高等学校自己評価表

目指す 学校像	1 「心の教育」の充実に努め、人間としての在り方生き方の自覚を深め、豊かな人間性を育成する学校 2 心身ともに健全な活力ある人間の育成を目指し、自主的活動を推進する学校 3 多様な進路希望に対応し、一人一人が主体的な学習を通して自己の能力を伸ばし、自己実現を可能にする学校 4 実践的・体験的な学習を積極的に取り入れ、適切な勤労観・職業観を育成し、社会の一員として活躍できる人間を育成できる学校 5 保護者・地域社会との連携を深め、社会から信頼される開かれた学校			
	昨年度の成果と課題	重点項目	重 点 目 標	達成状況
1 成果 少人数・習熟度別授業、義務教育範囲の復習、外国籍生徒への日本語の補習等の取組は、基礎学力の定着に十分な効果を挙げた。 また、本校職員のきめ細かな指導とハローワークとの連携による就職指導等により、昨年以上の就職内定率100%を実現できた。 進学希望者へは、きめ細かな指導により、例年に遜色ない大学等の進学が増加する等の成果を挙げることができた。		基礎・基本の学力の養成	① 「IS ベーシック」や各授業を通して、基礎学力の育成を行う。 ② ICT 機器の活用など、多様な個性の生徒へのきめ細かな学習指導方法の工夫・改善を図る。 ③ 授業公開の積極的実践と相互研鑽を行い、授業展開の工夫等の教授法の改善に努める。	A
		基本的生活習慣の確立 生活指導の充実	④ 生徒の日常の生活実態を把握し、家庭と連携して規則正しい生活リズムの確立を促し、基本的生活習慣の確立のための指導を充実する。 ⑤ 欠席、遅刻を減らす。正しい服装・頭髪への指導を行う。交通安全指導を充実し、あいさつの励行を図る。 ⑥ いじめや問題行動等の未然防止と早期解決を図るための指導を行う。 ⑦ 好ましい人間関係づくりの指導・コミュニケーション能力の育成を行う。 ⑧ 規範意識の確立、道徳心の高揚、他者への思いやり醸成のための指導を行う。 ⑨ 個人面接等を充実して、生徒理解を深め、生活面で適切な指導を行う。 ⑩ 教員間での生徒の問題の共有と共通理解に基づく共通行動体制の確立を行う。 ⑪ スクールカウンセラーを積極的に活用し、学校と家庭との連携を図る。	A
		進路指導の充実	⑫ 3年間を見通した計画的・系統的なキャリア教育を推進し、生徒一人一人の興味・関心・適性などに応じた「自分さがし」を援助する。 ⑬ 個人面接等を充実して、生徒理解を深め、長所や短所を把握し、進路面で適切な アドバイスを行う。 ⑭ インターンシップ等を積極的に推進し、望ましい勤労観・職業観を醸成する。また、学校見学、各種ガイダンス、検定試験、必要に応じた課外等を充実する。	A
		特別活動の推進	⑮ 生徒が活力ある学校生活を送れるように、生徒会・部活動の活性化を学校全体で推進する。 ⑯ ホームルーム活動や部活動などの集団活動を通して、心身の発達と個性の伸張、コミュニケーション能力の育成や他者への思いやり涵養などの社会性を育成する。 ⑰ キャリア・パスポートを活用し、生徒の主体的に学びに向かう力を育み自己実現につなぐ。	B
		より良いアクティブスクールに向けた取組の推進	⑱ ISベーシック I 及びISキャリアスタディ I からISキャリアスタディ II・IIIまでの系統的な指導体制を充実させる。 ⑲ アクティブスクールを、PDCAサイクルで見直し、より効果的な指導体制に向けた改善を実施する。	A
		地域から信頼され、評価される学校づくり	⑳ 文化祭等の学校行事への保護者や地域住民の参加を促し、地域へのボランティア活動や地域行事への参加を行うことにより、本校への理解と評価を高める。 ㉑ 近隣中学校や地域への広報活動を一層充実し、学校の特色及び活動を広く知ってもらうことで、学校への評価と信頼を高める。	A
	2 課題 課題として生徒の学習意欲を更に高め、生徒一人一人の多様な進路希望の実現に向けて、ICT機器の活用など取組の工夫が挙げられる。 また、体験的な教育活動を十分に活用し、生徒が主体的、積極的に活動する場を提供することで、生徒一人一人が、学校の教育活動と自己の将来をつなげて考えられるような機会の充実を図る。	働き方改革	㉒ 勤務時間の適正化に努めるとともに、行事、課外活動を含む業務の精選、適正化を進める。 ㉓ 校務のICT化や教材の共有等をさらに進め、業務の効率化を図る。また、業務改善の目的を明確にすることにより、業務改善の進捗を図る。	A

別紙様式2 (高)

評価項目		具体的目標	具体的方策	評価		次年度(学期)への主な課題
教科指導		密度の濃い授業を展開する。	学習目標に沿う授業計画を立案し授業に臨む。①②	A	B	・ICTの活用と、主体的・対話的で深い学びの推進により、思考力・判断力・表現力を育てる
			授業実施後は、適宜、生徒の学習内容の定着状況を把握し、授業の改善に努める。①②③	B		
教科	国語	基礎・基本の学力を養成する。	生徒の実態を踏まえた年間計画を作成・実施し、その中で絶えず指導の工夫・改善を図る。①②③	A	A	・ICT機器を活用した授業の充実を図る。 ・授業担当者間の打ち合わせをより綿密に行う。 ・日本語を母語としない生徒に個に応じたきめ細かな指導を行う。
			学習指導方法や生徒の学習定着状況について、授業担当者間で打合せをし、きめ細かな指導を行う。②③	B		
			自由選択科目等を活用しながら、漢字検定・日本語検定の合格者を増やすために指導を徹底し、合格率を高める。①④	A		
		個に応じた指導を行う。	日本語を母語としない生徒に対し、必要に応じて特別な教材で対応するなどして、基礎学力の育成を目指す。①②	A		
			少人数授業やティーム・ティーチング授業を設定し、個に応じた指導を行うことで、全員が分かる授業を展開する。②③	B		
	地歴公民	基礎・基本の学力養成に力を入れ、指導方法の工夫・改善をする。	科目の目標や指導内容等を明確にした年間計画を作成する。①②	A	B	・発見学習につながる、資料・史料を活用した授業を行う。 ・ICTを活用した少人数のグループ活動を行う。 ・学習の遅れがちな生徒への個別の学習指導を行う。
			生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身に付けられるように、教材や指導方法を工夫改善する。①	A		
		個に応じた魅力ある授業を展開する。	資料・史料の活用や、発見学習等の要素を取り入れる。②③	B		
			生徒の実態に応じて、少人数指導や話し合いを行うなど授業展開の工夫を図る。②③	B		
	数学	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	長期休業中や放課後等に、学習の遅れがちな生徒や学習意欲が旺盛な生徒への学習指導等、個に応じた指導を行う。②③	B	B	・ICT機器を活用した授業のさらなる充実を図る。 ・基本的な計算能力を定着させるために、教材や授業展開を工夫改善する。
			生徒の実態に応じて、教材を吟味し授業展開の工夫を図る。①②	A		
			例題や問題を多く出題する。①②	A		
		達成度に応じた魅力ある授業を展開する。	ICT機器を活用した授業展開を多く取り入れる。	B		
			問題集やプリントを活用し、生徒の達成度に応じた指導を行う。①②	A		
		基礎的学習能力を高める。	成績不振者を出さないよう、補習等を行う。①②	B		
			少人数クラスによる授業を実施する。基礎的な内容を扱う時間を設ける。①	B		
	理科	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	学習目標及び学習内容(評価規準等を含め)を共有し、わかる授業を心がけ、基礎学力の定着を目指す。①②	B	B	・学習内容の精選や進度の適正化を継続し、生徒が無理なく習熟の継続と、ICT機器を活用した授業展開について、さらなる充実を図る。 ・主体的・対話的で深い学びや実験・観察の内容を充実させ、主体的・対話的な授業の充実を図る。
			教材の開発や指導法、身近な科学や話題の提供やICT機器の活用を通して生徒の理科に対する興味・関心を高めるよう努力する。①②	A		
		個に応じた魅力ある授業展開を目指す。	生徒が自主的に取り組める実験や観察を積極的に展開する。生徒が互いに学びあう主体的・対話的で深い学びの授業を積極的に取り入れる。授業展開や指導法などについて教科内研修を行い、互いの指導技術を高める。①②③	B		

※ 評価基準 A: 十分よい B: よい C: やや不十分 D: 不十分

※ 評価基準 A：十分よい B：よい C：やや不十分 D：不十分

別紙様式2 (高)

評価項目		具体的目標	具体的方策	評価		次年度(学期)への主な課題
教	情 報	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	科目の目標・指導内容等を明確にした年間計画を作成する。 ①②	A	B	・生徒の作成物を互いに共有させて互いに評価・向上を図れるようにICT機器を活用する。
			生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身に付けられるように、教材及び指導方法を工夫する。 ①②	B		
			個に応じた魅力ある授業を展開する。 ①②	B		
科	商 業	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	科目の目標・指導内容等を明確にした年間計画を作成する。 ①②	A	A	・生徒が主体的に取り組めるように基礎・基本の徹底をはかり、応用力を身につけられるように教材の研究や工夫に努める。 ・検定合格のために、放課後の課外などで個の生徒にあった指導に努める。
			生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身に付けられるように、教材を工夫改善する。 ①②	A		
			資格取得に力を入れた指導を展開する。 ⑭	A		
		個に応じた魅力ある授業を展開する。	生徒の実態に応じて、楽しく分かる授業展開の工夫を図る。 ②③	A		
			放課後等において、学習の遅れがちな生徒や学習意欲が旺盛な生徒への学習指導等、個に応じた指導を行う。 ②③	A		
教 務	基礎的学力養成を基盤とする教育課程の構築		教科・年次間の連絡調整を密に行い、少人数・習熟度別授業を無理なく展開させるための校内体制を整える。国・数・英については家庭学習課題についても IS ベーシックと連動するよう調整を行う。 ①②③⑩⑮⑱	B	B	・ICTを活用した授業の実施に向けた教員の研修機会や授業参観を通して、授業力向上を目指す。 ・教科、進路、年次と協力し、進学指導を意識した校内体制作りを進めるとともに、3年間を見通した指導体制作りを始める。 ・新学習指導要領における教育課程が円滑に実施できるよう、組織的に取り組む体制作りを図る。 ・外国籍生徒の支援に関するカリキュラムをはじめ、多くの問題を整理し早めの対応を検討する必要がある。
			保護者や地域の方々を対象とした公開授業を実施する。また、保護者アンケート調査を実施しその結果を活用する。 ①②③⑱⑲	B		
			現在の教育課程における課題点を把握・整理し、教育目標達成に適した教育課程となるよう、継続的に検討を重ねる。 ②③⑫⑮⑱	B		
	学習意欲の向上		授業や家庭学習への取組状況の把握に努める。また生徒の進路希望に応じた課外等の実施を図る。 ①②③④	B		
			少人数・習熟度別授業の実施を継続するとともに、ICT機器を活用した授業展開の研修を兼ねて教科を越えて授業を互観する機会や学習意欲を喚起する指導の研修を増やしていく。 ①②③⑱	B		
	家庭や地域社会との連携		欠席・遅刻防止の指導や生徒把握に努め、出席状況、学習状況等について保護者との連絡を密にするため、年2回の保護者(三者)面談を計画・実施する。 ④⑤⑨	B		
			学校説明会において本校の特色あるカリキュラムをPRする。また、体験学習の成果も公開し、PRする。 ②③⑳㉑	B		
			本校の教育活動について、機会を捉え、「学校だより」や学校Webページ、各種メディア等で積極的に発信する。 ③⑯㉑	B		

別紙様式2 (高)

評価項目		具体的目標	具体的方策	評価		次年度(学期)への主な課題
生徒指導	基本的 生活の 習慣の 確立	日常生活のリズムの確保を図る。	HR、授業、登校指導を通しての日常的な生活指導を重視する。 ④⑤	A	A	・生徒との信頼関係の構築を基本にして、保護者との連携を密にしながら、日々の生活指導の充実に努める。 ・交通事故撲滅に向けて、講演会の実施や車両点検・整備指導を充実させる。さらに原付バイク運転講習会を実施する。 ・教員一丸となって、「いじめ発生ゼロ」以上に、「いじめ見逃しゼロ」を目指す取り組み(研修・講話・アンケートなど)の充実に努める。
		服装、頭髪等の改善と生活マナーの向上を図る。	毎日の服装容儀指導、定期的な集会での検査、不合格者の指導を徹底する。 ④⑤⑧⑨	A		
		交通安全、交通ルールへの順守、自転車・バイクの安全運転と管理を徹底する。	集会での講話、校外キャンペーン活動、HRでの指導や定期的な安全検査を実施するとともに、啓発ちらしの配布を行う。 ⑦⑧⑨	B		
		常に生徒の実態把握に努め、いじめ、問題行動や退学志向の未然防止を図るとともに素早い対応を行う。	面談や観察及び巡回指導を重視するとともに、情報の共有化を図り、年次間で協調して指導をする。 ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	A		
			いじめ防止のために、アンケートを年2回実施するとともに生徒とのコミュニケーションを緊密にとり、未然防止及び早期発見に努める。 ⑥⑦⑧⑨	A		
	校内生徒 指導の 体制の 充実・ 強化	クラス内の生徒間の好ましい人間関係づくりに努める。	HR経営の研修や各種アンケートを実施する。 ③⑥⑦⑧	A	A	・いじめを乗り越えていけるような生徒集団づくりを推進するため、教員の研修をより一層充実させる。 ・マナーアップ活動や学校行事などにおいて、生徒自ら生活改善できる機会の提供を推進する。 ・SCの活用拡大と共に、担任と相談チームの連携を強化することで、生徒の生活状況の把握に努める。
		生徒の自主的活動を育て生活改善に取り組む。	特活行事の工夫、生徒参加の校外キャンペーンの実施(さわやかマナーアップ)、自主的体験活動の実施に努める。 ⑩⑪⑫⑬⑭	B		
		教育相談の校内体制を整備し、機能的な取組に努める。	相談体制の周知広報に努めるとともに、相談チームの活性化を図る。 ⑨⑩⑪	A		
		家庭、中学校、警察、地域など校外関係機関との連携強化を図る。	PTA関連行事の活用、家庭訪問や近隣中学校の訪問、警察署との密接な交流などを実施することで、キャンペーンの広報及び協力要請を行う。 ⑫⑬⑭	B		
進路指導		各年次と連携し、系統的・体系的な進路指導を充実させ、生徒の進路希望の実現を図る。	1年次：インターンシップや進路ガイダンスを通し、適切な職業観や進路意識を育成し、2年次の授業選択や将来の進路について考えさせる。 ⑫⑬⑭	B	B	・各年次をつなぐ系統的・体系的な進路指導の枠組みを確立する。 ・早期の進路志望の確定を目指し、ISキャリアやホームルームなどと連携した活動を通して、進路意識の醸成を図る。 ・模擬面接や志望理由書作成などの具体的な活動を充実させ、進路希望の実現を図る。 ・保護者への情報発信や面談等の充実を図り、進路指導を共有する。 ・学びの基礎診断を軸に、日常生活や普段の授業での学力向上や生徒の学習への意識付けを図る。
			2年次：進路別ガイダンスや講話により、生徒個々の進路に関する知識の深まりをめざす。また、模擬面接や履歴書の書き方などの練習を通して、3年次の具体的な進路活動を意識させる。 ⑫⑬⑭	B		
			3年次：二者面談、三者面談を充実させ、進路目標を明確にさせる。また、個に応じた指導やガイダンス、講習会などへの参加を促し、希望進路の実現をめざす。 ⑫⑬⑭	B		
		生徒の進路意識の向上を図り、希望する進路を実現させるため、基礎学力の向上をめざす。	学びの基礎診断を実施することで、生徒の実態を把握し、各教科の授業や特別活動、総合的な探究の時間の活動に反映させ、基礎学力の向上に取り組む。 ⑫⑬⑭	B		

別紙様式2 (高)

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価		次年度(学期)への主な課題
保健厚生	自己の健康保持増進について意識の向上をはかれるように努める。	定期健康診断を実施し、適切な指導を行う。④	B	B	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、なるべく密にならないような形態及び使用器具の消毒等次年度も配慮していきたい。 ・救命講習、避難訓練においては、消防署との連携を取りながら実施を検討したい。
		性に関する知識と意識を高められるように、性教育講演会を実施する。④⑪	B		
	災害の未然防止と発生時の適切な対応力を身につけ、安全への意識を高める。	救命講習会を実施する。④	B		
		避難訓練を実施する。④	B		
	環境美化の意識を向上させる。	基本的な生活習慣(ゴミはゴミ箱へ・散らかさない汚さない)を意識付けし、毎日の清掃指導を徹底する。④⑧	A		
渉外	PTA活動を充実させ、活動に対する保護者の意識高揚を図る。	本部役員を中心に共通理解を深め、会員が協力して円滑で充実したPTA活動が実施できるように努める。⑳㉑	B	B	・新型コロナウイルス感染予防を徹底したうえでのPTAの活動を充実させるよう努める。 ・広報誌等を通じ、PTA活動や学校行事について、保護者に理解・協力してもらえよう努める。
		PTA総会、研修旅行、柏葉祭、各種研修会などのPTA行事を魅力的なものにすることで、参加率を向上させる。⑳	B		
	広報活動を通じて、保護者の学校理解を深める。	PTA会報の内容を充実させることで、保護者に積極的に読まれるような紙面作りを行う。㉑	B		
	同窓会活動の推進を図る。	同窓会との連携を円滑に進め、活動を活発にする。㉑㉒	B		
図書	読書意欲の向上を図る。	図書委員会活動を活性化させ主体的に活動させる。学級文庫等を実施し、読書を奨励する。①②⑦⑧	B	B	・充実した読書指導を行えるように図書および図書館の環境整備に努める。 ・図書委員会活動の精選。
	図書・資料の充実を図る。	購入希望図書の調査をし、バランスの取れた図書購入をする。①	B		
		購入図書の広報、本の情報を掲示・展示する。②⑫	B		
	図書館・視聴覚室の利用を促進する。	授業に必要な図書・視聴覚資料を購入する。①②⑫	A		
		生徒向けのビデオ上映会を行い、図書を身近なもの意識させる。①	C		
	図書の整理を進める。	図書の整理(廃棄も含む)を行い、書架を見やすく整理する。①②	B		
特別活動	HR・生徒会活動・学校行事を通して、自主的で実践的な人間形成に努める。	行事内容を検討し、生徒が創意工夫を凝らし、主体的に活動することを旨とする。⑮	A		・社会生活や学校生活の変化に応じて、臨機応変に工夫し、行動する力を、各行事やHR活動で身につける。 ・学校行事や委員会活動では、生徒会役員を中心として、生徒が主体的に活動できるようにする。 ・「地域に根差す学校」を目指す
		生徒会活動を通してあいさつの励行、学校美化を図る。⑦⑫	A		
	集団意識の高揚を図り、社会性の育成を図る。	あいさつ運動やボランティア活動を通して生徒の自主性や社会性の育成を目指す。⑧⑫	B		
		学校行事等での企画・準備・運営においての生徒の積極的な参加を促すとともに、リーダーとなる生徒の育成を図る。⑮	B		

※ 評価基準 A: 十分よい B: よい C: やや不十分 D: 不十分

別紙様式2 (高)

	部活動の活性化を図る。	部活動紹介、体験入部等を通して、部活に対する意識の向上を図り活性化につなげる。身体 の健康、安全を守り、安心して活動できるように環境整備を行う。 ⑮	B		取り組みを行う。 ・各行事や部活動が、安全に行うことができるように指導する。
--	-------------	---	---	--	---

評価項目	具 体 的 目 標	具 体 的 方 策	評 価		次年度（学期）への主な課題
第1年次	基礎学力の育成と学ぶ意欲の涵養を図る。	IS ベーシック I での学び直しの授業を通して、中学校における復習を行う。また、英国数等の少人数授業によりきめ細かな学習指導を行い、基礎力を定着させるための素地を作る。 ①②③⑮⑱	A	B	・教科担任との連携やICTの活用を促進し、基礎学力を定着させる。 ・挨拶の励行と服装容儀指導を継続する。また、欠席や遅刻の数を減少させる。 ・学校行事等の対応が後手にならないよう、先を見据えた計画を立案し、実行する。 ・進路実現や選択肢を考えるためのキャリア教育の充実。また、進路希望に応じた指導を実践する。 ・グーグルクラスルームの活用促進など、情報共有をさらに強化する。
	基本的生活習慣の確立を目指す。	挨拶の励行と服装容儀指導を全体に徹底させるとともに、きちんとした生活習慣を身に付けさせ、充実した学校生活を送れるよう個人面談等を通して指導する。 ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	B		
	特別活動へ積極的に参加させる。	学校行事への積極的な参加を促し、集団における個人の成長を図る。また、リーダーとなれる生徒を育成することで各ホームルームや学校行事の活性化を目指す。活力ある学校生活を送れるように、部活動への入部を積極的に促す。 ⑮⑯	B		
	進路指導の充実を図る。	キャリアスタディ I や LHR、道徳、年次行事等を通して、3年間を見通したキャリア教育の土台作りを行い、地域社会に貢献できる進路指導を目指す。 ⑫⑬⑭⑮⑱	A		
第2年次	基礎学力の育成と確実な定着を図る。	英数国における習熟度別少人数授業を通して、確かな基礎学力を身に付けさせる。授業を大切に、集中して取り組む姿勢を育成する。 ①②③⑮⑱	A	B	・基本的生活習慣の挨拶の励行については、次年度に徹底していききたい。 ・1年次のインターンシップが中止だったので、近隣の事業所についての調べ学習ができていない。次年度就職に向けて事業所見学先を選ぶ前に、調べる時間を設定する必要がある。
	基本的な生活習慣を確立させる。	挨拶の励行と服装容儀指導は年次全体で組織的に取り組む。また、日常の声かけや個人面談を指導に活用するとともに、家庭と協力して欠席・遅刻・早退の数を減少させる。 ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	A		
	特別活動等に積極的に取り組み、集団活動を通して社会性を高めさせる。	文化祭、クラスマッチ、修学旅行等の学校行事への積極的な参加を通して愛校心や思いやりの心を育てる。また、集団行動において一人一人に役割を自覚・実践させることにより、生徒の成長を促す。 ⑦⑧⑮⑯	B		
	キャリア教育の充実を図る。	キャリアスタディ II、総合的な探究の時間、LHRを中心に、自己の在り方生き方について探究・深化させ、生徒の進路希望を考慮したキャリア教育を行う。 ⑨⑫⑬⑭⑰⑱	B		

別紙様式2 (高)

評価項目	具 体 的 目 標	具 体 的 方 策	評 価		次年度(学期)への主な課題
第3年次	基礎学力の養成と定着を図る。	授業を大切に、集中して取り組む姿勢を育成する。 ISベーシックⅢや英数における少人数・習熟度別授業を通して、確かな基礎学力を身に付けさせる。また、「総合的な学習の時間」やLHRも活用し、就職試験(筆記試験)や上級学校入学試験に対応できる学力向上を目指す。①②③⑱⑲	A	A	・欠席・遅刻・早退をしないことの大切さを強く訴え、その重要性を理解させる。 ・服装容儀や頭髪等の指導は、保護者に理解を求めて根気よく行っていく。 ・その場の雰囲気を感じ取り、場面に合わせて会話の出来るコミュニケーション力を身につけさせる指導を常に行っていく。
	基本的生活習慣の確立と生活指導の充実に努める。	社会人になることを意識させ、欠席・遅刻・早退をさせないようにするとともに、時間厳守を心がけさせる。④⑤⑧ 普段から正しい服装を心がけさせ、服装容儀や頭髪についても日常的に厳しく指導する。④⑤⑧ 個人面談を繰り返し生徒の実態に踏まえた生活指導を行う。⑨ 教員間での情報交換を行い、年次全体で生徒指導を行う。⑩	B		
	キャリア教育の充実に努める。	教員に対する言葉遣い、校内での所作から来客への会釈(挨拶)に至るまで、社会人として必要な礼儀作法を、日常の学校生活において意識的に指導し、身に付けさせる。⑦ ISキャリアスタディⅢを通して、進路学習を進めるとともに、働くことや防災など、社会に出て必要になることを学ばせる。⑫⑬⑱⑲ 個人面談を通して生徒一人一人に応じた進路指導を行う。⑬ 「総合的な探究の時間」やLHRにおいて、面接指導を十分に行う。また、進路指導室の積極的な利用を推進し、適切な情報収集ができるようにする。⑫	A		
	特別活動の推進に努める。	クラスマッチや文化祭等の学校行事を通して、生徒一人一人に活躍の場を与え、生徒個人及び他者との関係における成長を促す。⑯⑰⑱	B		